

社会思想史学会 2020 年度総会・議事報告

社会思想史学会事務局

社会思想史学会第 45 回大会（10 月 24・25 日、オンライン開催）にあわせ、オンラインにて開催されました 2020 年度総会について、結果をご報告いたします。

・議案（1）～（5）については、特段のご意見・ご異議等なく、無事承認されました。ご協力ありがとうございました。

・会員有志より、①ご質問 1 件（ハガキ）、②ご提案 1 件（Eメール）が寄せられましたので、幹事会での審議をふまえ、下記のとおりお答えいたします。

①[ご質問の要旨] 現在の会費納入状況（総会資料③）について、会員のうち半数ほどが未納となっているが、どうなっているのか、未入金者にどのような対策を講じているのか。

↓

[回答] ありがとうございます。幹事会・事務局としても憂慮しているところであり、未納会員に対して可及的すみやかに会費の納入を促さなければならないと考えております。具体的な対策としては、今年 1～2 月に、代表・代表補佐より滞納者各々宛に督促メールを送り、一定の成果を上げておりますが、今後も一層の努力を続ける所存です。会員各位のご理解・ご協力を乞う次第です。

②[ご提案の要旨] 予算案（総会資料②）に、大会経費として報告集印刷・発送費として 70 万円が計上されているが、PDF にして会員にメール送付すれば、大幅な経費削減が可能になるのではないか。

↓

[回答（幹事会としての提案）] ありがとうございます。会場校でおこなわれる通常の大会であれば、これまでどおり冊子体のプログラム・大会報告集があったほうが会員にとって便利であると考えられますが、来年度は今年度同様にオンライン開催であり、当日の報告資料等すべてホームページを介したオンライン配布となるため、ご指摘のとおり、プログラム・大会報告集を冊子体にして事前に郵送することに有意性は乏しいと思われまます。

そこで、ご提案を踏まえまして、来年の第 46 回（2021 年度）大会にかぎり、プログラム・大会報告集を PDF 形式でオンライン配付（配信）することとします（※具体的な方法については、メール添付にて各会員にお届けする・ホームページ上に掲載する等、いくつか考えられますので、今後検討を進めたいと思います）。ただし、希望する会員には、個別に紙媒体で送付することとします。